



野田市議会議員

滝本 けいいち

【連絡事務所】

住所：〒278-0005

千葉県野田市宮崎 96-4

電話：080-5174-4312

FAX：047-413-0470

メール：kei1.takimoto@gmail.com

野田市議会報告

VOL. 2

2014年 10月発行

平成26年第3回野田市議会定例会（会期：9月3日～9月29日）

議会開会后、教育長より市内小学校教諭が土曜授業への不満から教育委員会や市長宛てに脅迫状を送り逮捕された件について、土曜授業については議論を重ねながら改善のための努力を続け 責任を持って子どもたちの学習機会を確保することが重要だと考えるとの報告がありました。

根本市長による市政一般報告要旨

①学校の耐震補強工事について

現在、校舎7棟及び体育館3棟の合計10棟の耐震補強工事と、宮崎小学校教室棟の一部改築工事が進められている。

②特別養護老人ホームの整備について

社会福祉法人ぱるが、70床の施設を平成28年4月開設に向け、パルシステム千葉中根店隣に整備し、千葉県と事前協議を進めている。

③特典付きふるさと納税について

政府が今後更なる制度の拡充を考えていることから、野田市としても本制度の積極的活用を図っていこうと考えており、黒酢米を贈呈する予定である。

④小中学校における月2回の土曜授業について（本年4月より実施）

6月実施のアンケートでは「学力向上には少人数や個別指導が有効である」という回答が多く得られた。今後、体制整備を進めていく。全国平均を下回る数学・算数については11月にテストを実施し、早い段階でのつまづきを確認し今後の指導に活かしていく。

⑤立体交差事業について

愛宕駅北側での立体交差工事の説明会を関係者を対象に6月に開催した。野田市駅構内は地下通路を西側に延長し、現在のタクシー乗場付近に仮駅舎の築造が予定されている。また、10月より高架橋基礎工事が着工予定である。

可決された主な議案

第3回定例議会の議案としては子ども・子育て3法の法律の施行により野田市でも条例を制定する議案や、26年度における補正予算の計上など16議案の提案を受け全て可決されました。

また、9月議会では決算審査特別委員会が開催され平成25年度の野田市一般会計歳入歳出決算の認定など8議案の審査が行われ全て可決されました。

滝本 けいいちによる 一般質問の要旨



①小中学校トイレの洋式化について

<質問>

日本の一般家庭の90%以上が洋式トイレ化され、商業施設でも洋式トイレ化が進んでいる。学校は子どもたちが長時間過ごす場所であり安全安心を第一にできるだけ快適な環境で学ばせたい。学校のトイレは健康面・心理面からも深刻な問題であると考えている。また、洋式トイレは和式トイレと比べて大幅な節水ができるため、水道料金の削減にもつながる。現状のトイレの洋式化率と今後の方針について伺いたい。

<答弁>

平成15年度より実施計画に従いトイレの改修工事を実施している。25年度までに小学校16校が完了し、26年度中に小学校1校が完了する予定であることから、既に洋式トイレ設置済みの3校と合わせ、野田市の全20校での洋式化が完了する。中学校では25年度までに2校が完了し、27年度に1校、28年度以降に残りの9校の改修を計画的に実施する予定である。

野田市として洋式トイレの設置目標率は無く、各トイレ最低一個の洋式トイレが基本(※1)であり、現在の洋式化率は、校舎で「小学校34%、中学校15%」、体育館については「小学校17%、中学校22%」となっている。

※1 行政が答弁する「完了」とは、各校の各トイレに最低一個洋式トイレを設置という意味。

<感想>

平成15年度から26年度に改修された小中学校が19校である事を考えると、28年度以降に実施予定の中学校9校は何年先になってしまうのでしょうか。また、他市では和式トイレを一個残すか残さないかでの議論をしているにも関わらず、野田市は洋式トイレを一個設置し、残りは学校の状況を踏まえて検討という疑問を残す方針であり、早期に学校トイレの洋式化が実現できるよう働きかけていきます。

②放課後対策の総合的な推進について

<質問>

保育所は朝7時から開所するが、学校休業日の学童保育所は朝8時からとなっている。早朝延長は出来ないのか伺いたい。また、「学童保育」と「放課後子ども教室(※2)」を一体的に行う「放課後対策事業」の実施なども含め、今後の方向性について伺いたい。

※2 放課後や週末に子供たちの居場所をつくるため、校庭や教室を開放し、地域住民の協力によってスポーツや文化活動ができるようにする取り組み。文部科学省が主導。

<答弁>

開所時間については優先順位が低く、建物の整備等の優先順位の高いものから実施していく。また、一体型の放課後対策事業の実施は、現在、土曜授業を実施していることもあり、教員の負担が更に増加してしまうことになる。国の財源についても不確定なので現状で進めていく。

<感想>

開所時間については、職員の負担が増加することは事実ですが、学校休業日という限定的な対応でもあるため、出来るものから実施しサービスの向上に努めるべきと考えています。本件は引き続き働きかけていきます。

一体型の放課後対策事業については、子どもたちの安全な居場所を確保し、地域一体となって子どもを育てることが土曜授業の代替となり、先生や職員の負担軽減につながればとの思いで質問しましたが、土曜授業を開始して半年という事もあるので、今後の動向に注視していきます。

是非、皆さんの市政に対する
ご意見・ご要望をお知らせください！

電話:080-5174-4312
FAX:047-413-0470
メール:kei1.takimoto@gmail.com